

## つなぐ



## スポーツの力で住みよい地域に



市民活動にはいくつかの活動分野がありますが今回取り上げるのはスポーツの分野で地域貢献している団体です。最初に紹介するのは市民活動センターの登録第1号でもある「NPO法人合気道龍」代表であり師範の安藤每夫さんにこれまでの活動そしてこれから目指していることについて伺いました。

### 合気道を通じた地域貢献

合気道龍は、浦安市市民活動センター設立と同年の2002年にNPO法人を取得し、市民に合気道を学ぶ場を開いています。浦安市内の小中学校において護身術教室を開催し、浦安スポーツフェアや自治会の盆踊りなどで演武を披露するなど、地域に根ざした活動を続けてきました。安藤さんによると「浦安は伝統を大切にする一方で、新しいものを歓迎する風土があるので、我々が市外から来て道場を開いても抵抗なく受け入れてもらえた」とのこと。浦安の発展とともに合気道龍の活動も広がっていきました。

### 合気道は相手を負かすのではなくむしろ友だちになることを目指す

合気道とは相手の力を自らに取り込み、相手を制する武道です。こちらから相手をたおそうとするのではなく、やってきた相手の力を利用し、最後には一体となるのが「合気」。競争がなければ発展はないものの、今の競争社会においてはギスギスした生きづらさを感じる側面もあります。「人間が平和に暮らし、社会の閉塞感を打ち破るためにも、合気道で培われる相手を受け入れ融合する精神を子どもたちや大人にも教える必要がある」と安藤さんは考えています。



### 世界平和のために合気道を通じて「すがすがしい人たちを育てたい」

最近では、学びを求めて海外からもより多くの人が集うようになりました。今年の夏にはアルゼンチンの女性が入門し、カナダから武道家のYoutuberが指導を受けに来るなど、世界の人も魅了する合気道龍。

海外では今なお戦争が続いている地域もあります。実際、門下生の中には紛争地域出身の方もいらっしゃるそうです。そのため安藤さんは、悲惨な状況を遠い国のことではなく、すぐ近くの出来事として感じられています。「日本の良さを生かしながら世界平和に貢献していくことこそが使命」と捉え、日本文化を学ぶことがステータスとなるように合気道を世界中に広め、合気道を持つ「すがすがしい人たちを育てる」ことを目指しています。

大学卒業後に一度は企業に就職した安藤さん。合気道の道に進むことを決意した瞬間は「敷かれたレールから外れる気もしたが、そこには大地があった。レールから落ちたとしても大地に立てるから大丈夫」と語るその笑顔はとてすがすがしく、道場にも清らかな空気が澄み渡っていました。

(市民ライター 西橋 友理)



NPO法人合気道龍  
←詳細はこちら

# 誰もがサッカーを楽しめる！ それは私たちの願い

浦安市サッカー協会理事・事務局長、石井敬さんに  
サッカー協会が目指す  
誰もがサッカーを楽しむための仕組みや工夫  
その思いについてお話しいただきました



## 浦安市サッカー協会とは

現在、サッカー協会には小学生年代を中心にキッズからシニアまで様々な年代のプレイヤー、そして中高生年代の女子チーム、指導者・審判ら会員、約3100人が所属し、それぞれの立場、参加の仕方、思い思いにサッカーを楽しんでいます。

はじまりは遡ること40年前の1982年、大人の大会開催と、サッカーを通して少年、少女の健全育成を図ることを目的にサッカー協会は設立されました。2019年にはそれまでの任意団体から法人格を取得し一般社団法人となりました。

その頃から、幅広い年代の方や障がいを持つ方がスポーツを楽しむ場を作ることが地域課題と感じるようになったと語る石井さん。さらにお話しは『私たちの約束』へと続きます。

## 「世界で一番、誰もが、サッカーを楽しめるまちの実現」

これは、2021年に制定されたミッション『私たちの約束』のひとつ「サッカー協会がめざす姿」。ほかに「大切にすること」や「行動指針」が示され、地域との関わりや「レベル、性別や年齢、障がいの有無に関係なく、サッカーを楽しもう」という精神も盛り込まれています。

## 誰もがサッカーを楽しむために

同協会では、『私たちの約束』を実現させる取り組みのひとつとしてインクルーシブフットボールプロジェクト～3つの活動を行っています。

## 🏆 歩くサッカー

年齢性別を問わず参加が可能で、「走ってはダメ」「相手のボールを奪わない」「車椅子の人のボールを補助して良い」といったルールを設け、高齢者・障がい者・キッズと共に安心・安全にプレーする機会をつくっています。



## 🏆 チャレンジド・サッカー広場

知的障がいのある方、発達障がいのある子どもたち対象にほぼ毎月開催。市内高校生のボランティア参加があることも特徴の一つで、互いの理解を深めるのに役立っています。障がいのある子どもたちにとっては、のびのびと自分を表現できる大切な居場所で、高校生たちにとっては障がい者に対する優しさを自然と身につけられる場となっており、温かい交流が育まれています。

## 🏆 わくわくスポーツフェスティバル

キッズ年代（未就学児）とその家族を対象にサッカーに親んでもらうため、年3、4回開催。クラブのコーチたちも運営をサポートしています。



## 活動している子どもたちの変化

チャレンジド・サッカー広場に参加している高校生は「障がいのある人に対する関わり方が変わり、学びになった」と話します。また、これまで自分主体のプレーをしていた生徒も、周囲に対する思いやりの心を自然と持つことができるようになり、その変化をプレーから感じられるようになったそうです。一方、障がいのある子どもたちも、仲間たちの元気な声掛けや温かいサポートの下、一緒にプレーができるようになったことで、笑顔が増えていったといいます。

このように、活動を通じて子どもたち1人ひとりが地域と関わり合いながら成長していく姿が見られます。

石井さんは「障がい者・高齢者に対する優しさを持ち、スポーツの楽しさを、プレイヤーだけでなく運営も含めたみんなの力で広めていくことが大切」と語られました。

純粋に「楽しい」という気持ちを誰とでも共有できる、そんなサッカーの良さが表れている取り組みを伺うことができました。

来る11/10「まちづくりフェスタ with」、歩くサッカーなど誰でもサッカーを楽しむ機会がやってきます。どのような交流が生まれるか、楽しみです。

(市民ライター 武田 めぐ)

一般社団法人  
浦安市サッカー協会  
詳細はこちら→



# 浦安D-Rocksが目指す社会活動と浦安とのつながり



浦安D-Rocksは、2022年7月に発足した浦安を本拠地とするラグビーチーム。今回は、マーケティング担当の石塚忠広さんとソーシャルデザイン担当の石神勝さんにチームが行う社会活動、地域に向けた活動、浦安とのつながりについてお話を伺いました。



## D-Rocksのこと

浦安にラグビーチーム「シャイニングアークス東京ベイ浦安」がやって来たのは今から約6年前の2018年。その後、NTTドコモレッドハリケーンズ大阪との再編に伴い、2022年7月、新たに設立されたのが「浦安D-Rocks」。現在、JAPAN RUGBY LEAGUE ONEの1部リーグ昇格を果たし、チームはますます勢いを増しています。

チーム名に「浦安」が冠されているのは、地元との強いつながりを大切にしている姿勢の表れです。浦安市内で、子ども向けのラグビー教室やファン交流イベントを通じてラグビー文化を普及させる活動を行う他、市民活動や地域に向けた活動にも積極的に参加しています。

## 持続可能な社会のために

2023年12月、浦安D-Rocksは気候変動対策、循環経済、自然環境保護の3本の柱から成る「サステナビリティ宣言」を発表。市民や地域との連携は、全て“サステナビリティ”につながるものです。

ファンから寄付された古着を再利用して応援フラッグを作り、使い切れなかった古着も地域の古着回収に協力するなど、古着もファンの気持ちもムダにしないよう、丁寧に活動されているとのこと。

カジュアルソーシャルアクションという「ふだんの暮らしの中でできることから始める軽やかなアクション」を推奨し、「楽しみながらアクションを」をモットーに活動。選手主体の活動を重視し、彼ら自身の考えを尊重しながら取り組んでいます。



## 市民と共に

環境問題に対する取り組みとして、浦安D-Rocksはゴミ拾い活動を継続しています。地元の企業や団体、市民と連携し、浦安市全体で街や川からゴミを減らし、未来の海を守るための活動を進めています。最近では、浦安市国際交流協会（UIFA）と共に新浦安駅周辺でゴミ拾い活動を行いました。また、コロナ禍にはホテルと協力して海辺の清掃活動も行っていました。今後も市民団体や企業との連携を深め、活動の幅を広げていきたいと考えています。



## 「One for Society, Society for One」ラグビーを社会の中で活用する

「地域に向けた活動への参加に対する選手たちの反応は」との問いかけに「自ら参加を希望している人が多いです」との答えがすぐさま返ってきました。「それは、ラグビーの自己犠牲精神が地域に向けた活動につながっていることの現れかもしれませんね」ともお話いただきました。このような精神が、地域や社会のために自ら行動する原動力となっています。



## D-Rocks～地域～これから

地域に向けた活動に参加すると、選手たちは市民の方から直接、「いい活動しているね」「いつもありがとう」と励ましの声をかけられることがあります。これが活動に対するモチベーションを高めていることは言うまでもありません。

そして「選手と市民のみなさんが直接的に関わることで、両者の距離が縮まり、選手一人一人にファンがつくと、こんな嬉しいことはないですね」とも。

これからも地域との接点を持つことで、浦安の人たちとともに、より良いまちにしていきたいと考えています。私たちは「Connect つなぐ」という価値観を大きく掲げ、市民同士のつながりや選手と市民の結びつきを意識して活動します。「選手やチームと地域とのつながりがひろがるのが何より大切で、コミュニティが豊かになっていくことにつながります」と力強く語っていただきました。



今後、ますます地域に愛される浦安D-Rocksの活動に注目が集まりそうですね。

もうすぐ次のシーズンも始まります。また、高洲にある浦安Dパークにて公開練習も予定されているとのこと。海に近く青々とした芝生が素晴らしい練習場、一度、出かけてみてはいかがでしょうか。

浦安D-Rocks  
詳細はこちら→



## まちづくりフェスタwith開催!



市民のみなさんと一緒に!

市民活動団体と一緒に!

地域において、より多くの出会いが生まれ、交流が盛んになるよう、にぎやかにwithを開催します。

■開催日時: 11月10日(日) 10時~16時

■開催場所: まちづくり活動プラザ

展示: 市民活動を紹介(15団体)

ワークショップ

こども広場・お菓子づくり

歩くサッカー・ドローンカメラでFPV体験

ウォーキングレッスン・苔玉作りなど

販売: 手作り品・古着市・鉢花と花苗

団体オリジナルグッズなど

飲食: お弁当・カレー・ガパオライス・菓子パンなど

※キッチンカー出店も予定しています

参加企画として講座・講演会も開催!

■まちづくり講座

「人生100年 地域でイキイキと暮らすために」

日時: 11月10日(日) 10時30分~12時10分

場所: まちづくり活動プラザ・3階 講義室1

定員: 30名(先着順)

申込: 電話・FAX・Eメールにてセンターまで

内容と協力団体

「浦安はつらつ体操」「口腔体操」

(浦安介護予防アカデミア)

「尿モレ防止体操」

(女性のカラダを整えるメタモルフォーゼ)

「ノルディック・ウォーキング」

(いきいきノルディック)

■市民参加推進講演会

「地域の発展に貢献しよう!」

参加と受入方法について学ぶ」

日時: 11月10日(日) 13時30分~15時

市民向け: 13時30分~ 団体向け: 14時20分~

場所: まちづくり活動プラザ・3階 講義室1

講師: 後藤麻理子氏

(日本ボランティアコーディネーター協会事務局長)

定員: 各30名(先着順)

申込: 市民参加推進課まで(047-712-6059)

## 備品ロッカー・メールボックス・ボックス ギャラリーの利用申込みについて

市民活動センターでは、市民活動センター登録団体を支援するため、活動に必要な備品などを一時保管しておくための備品ロッカーと、郵便物などを一時保管するメールボックス(レターケース)、活動で作成された作品などを飾ることのできる透明なアクリル製のボックスを貸し出しています。

申込期間: 12月1日(日)~12月20日(金)

申込方法: 直接、メールにてセンターまで

メール申込の際は団体名、担当者名を記載

(抽選結果は申込みのあったメールにお知らせします)

申込多数の場合は抽選となります。

### 備品ロッカー

サイズ: 高さ56cm×幅29cm×奥行き49cm  
(鍵付き)

貸出数: 27個

利用期間: 令和7年1月~6月(6ヶ月)

### メールボックス

サイズ: 高さ7cm×幅23cm×奥行き33cm  
(鍵なし)

貸出数: 42個

利用期間: 令和7年1月~12月(12ヶ月)

※定期的に郵便物を取りに来ることができる  
団体に限ります。

※どちらも市民活動センター開館時間のみ利用可能。

### ボックスギャラリー

サイズ: 高さ30cm×幅30cm×奥行き30cm

貸出数: 12個

利用期間: 令和7年1月~12月(12ヶ月)

※展示物は定期的なメンテナンスをお願いします。



## セッター日誌より

残暑もやっと遠のき、一気に涼しくなりましたね。

ここ数日、センターの相談窓口には、つなぐプロジェクトのお申し込み、お問い合わせのためにいらっしゃる方が増えています。イベント開催や日頃のサロン活動、地域の行事など、「どんなプログラムが合うか」といった内容から謝礼の相談までさまざま。その度に、開催内容やイベントの目的などを伺ってぴったりに合うプログラムをご提案しています。双方にとってメリットのあるつなぐプロジェクトになることを願っています。



問い合わせ・申込みは  
市民活動センターまで

発行: 浦安市市民活動センター  
2024年10月10日

〒279-8501千葉県浦安市猫実1-1-1(市庁舎10階)

TEL: 047-305-1721 FAX: 047-305-1722

E-mail: shiminkc@jcom.home.ne.jp

URL <http://u-shimin.genki365.net>

